

# 株式会社徳田商店

## 業務を圧迫している受発注業務に最新ピッキングシステムを導入してサービス提供プロセスを改善



ピッキング作業風景

### 事業計画名

### 新ピッキングシステム導入による商圈拡大と鳥取のとと(魚)商品の拡販計画

### 企業紹介

株式会社徳田商店は鳥取市に拠点を置く食品卸売問屋。グループ会社としては、倉吉市に卸売会社「有限会社田中善次郎商店」、鳥取市に飲食店「元気亭(facefood株式会社)」がある。カップ麺や飲料などのドライ商品、ちくわや豆腐などの日配商品、一般家庭用冷凍食品の3種を扱う「食品部」、鳥取県公認荷受機関として市場で鮮魚を取り扱う鮮魚課、海外から輸入された冷凍魚、漬け魚などの加工魚を扱う冷塩課からなる「水産部」、自社で焼き魚や煮魚、フライ物などを加工する「加工部」と3つの部門からなり立っている。鳥取県公認水産物荷受機関であり、鳥取市公設卸売市場の卸として鳥取市の機関市場の役割を担う。地域密着型の営業活動により、多種多様な食品を鳥取県を中心としたエリア(近隣の各県を含む)で、量販店、スーパー、小売店、同業者を得意先に提供している。また、自社製品(マルトクブランド)は日本全国へ出荷されている。

### 事業の計画概要

業務を圧迫している受発注業務に最新ピッキングシステムを導入し、JAN-CODEによる商品管理と現場のネットワーク化によりサービス提供プロセスの改善を行う。また、営業展開・強化を進める業務ソフト体制の構築により「鳥取の魚」の全国展開、「鳥取ブランド」の独自商品拡販を計る。

### 事業目的の概要

- 当社において以下の4つの作業プロセスの改善が必要とされていた。
- ①データがオンライン化されていない受発注業務形態がある。これには専門性が必要でミスが起こりやすく、何人もの受注担当者を配置し、チェック作業も必要であった。
  - ②導入前のピッキング作業は紙ベースで荷分け表を発行し、それを見て仕分けをしていた。そのため、人為的ミスも起こり、その上、手書きで不明瞭な注文書も多く存在している。それらの理由により、受注作業とピッキング作業には商品知識・熟練度、専門性が必要なものであった。
  - ③②に対応する為、当社では各商品担当の営業職が夜間出勤しピッキング作業にあっていた。業界の営業慣習のため、休日出勤、夜間出勤、時間外労働が多く、会社としては人件費がコスト高、労働者にとっては休暇が取りにくい・昼夜通しての労働時間の長時間化など労働環境を悪化させていた。
  - ④専門性が必要であるため、習熟に時間がかかる。その上、営業職は作業中心の時間勤務となり営業に専念できない状況にあり、新規開拓などの営業が行いにくい状況があった。これらの問題を解消するため、ピッキングシステムを導入した。

### 導入機械装置

無線デジタルピッキングシステム



ピッキング作業場



ピッキング内容の無線表示機

### 事業の成果

無線デジタルピッキングシステムの導入により、作業フローの各工程の効率化とピッキング作業の効率化・省人化を図り、配置人員の改善による、作業プロセスの改善、労働時間の短縮化、作業環境の安全性向上を実現した。

- <作業フローの改善>
- デジタルピッキング導入により、受発注作業が事務員のみで対応できるようになった。
  - JAN-CODE管理によって、作業に熟練度が必要なくなった。また、ピッキングの人為的ミスが3%減少し、対客先へのサービスの付加価値が向上した。
  - ピッキングデータの活用により、伝票発行に入力作業が無くなった。
- <ピッキング作業効率化>
- 紙ベースだった荷分表が表示器になったため、専門性がなくなった。
  - 延べ時間は、117時間/日から35.35時間/日と大幅に短縮された。
  - 作業が体系化され、個人の能力差が表れにくい状態となった。
  - 担当が休みでも、自動按分されることにより作業の中断時間(ロス時間)が無くなり、作業効率が上がった。
  - 仕分場所が7か所(公道を跨いで900㎡)から1か所(300㎡)に集中し、作業効率の上昇と安全確保ができた。

### 事業化に向けて想定している内容

ピッキングシステムの稼働により、組織も「食品部」「水産部」「加工部」へと再編され、作業性は向上している。今後は、基幹システムの導入により、事務作業の効率化を図り、生産性を向上していく他、加工部への人員強化による管理体制の構築と他社企業とのコラボによる新商品の開発を試みている。

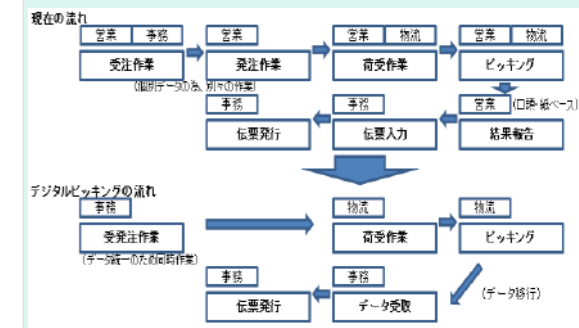
### 当社が取り扱う商品



塩干商品

日配商品

加工品



ピッキングの流れの改善結果



ピッキングシステム図



ピッキングデータを処理する電算室風景

### Interview インタビュー



### 代表取締役 徳田 三明

皆様の心豊かな生活と健康を支える「食」。その「食」をサービスし続けて半世紀を過ぎました。「安全」「安心」、信頼おける「食」はいまや皆様の最も関心のあるテーマのひとつといえましょう。鮮度・品質・価格すべてにおいて満足いただける商品の提供。日本全国はもとより広く海外も視野に入れ、ニーズに応えるべく努力してまいりました。

スーパー、小売店を通じて、これら信頼のおける「食」を消費者の皆様スピーディーにお届けするのが私どもの使命です。マークが信頼の「食」の印として一人でも多くの皆様にご愛顧いただけるよう研鑽努力を重ね、成長する企業であり続けたいと願っております。

### 株式会社徳田商店



### ● 主な事業内容

食品部、水産部、加工部、総務部

### ● 業種

52 飲食料品卸売業

- 代表者 代表取締役 徳田 三明
- 所在地 〒680-0914 鳥取県鳥取市南安長2丁目635-1
- TEL 0857-26-5151
- FAX 0857-24-5139
- 従業員 94名
- 資本金 21,500万円
- 設立年月日 1957年7月3日

### この企業の「強み」

鳥取の台所として地域の皆様に安心安全な「食」をお届けするため、日夜営業を行っている。生鮮野菜・生肉以外のほとんどの商品を取り扱っており、総合的に皆様の「食」を担う商売をしている。営業範囲は、鳥根県東部から京都府北部と多岐にわたり、地元企業として、皆様の声に耳を傾け、細やかな対応を旨として事業を行っている。

<http://www.ktokuda.co.jp/index.html>

徳田商店

検索

